



福西だより

京都市立福西小学校

平成28年度 前期 学校評価まとめ

前期の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。福西小学校の教育目標は『笑顔いっぱい 学校大好き 友だち大好き 福西の子』です。集計結果の分析を通して、教育活動の改善を行い、教育目標の実現をさらに目指していきたいと思います。

【学校生活】

質問項目	対象	◎	○	△	×
楽しく学校に通っている。	低学年児童	71.5%	20.5%	7.1%	0.9%
	高学年児童	57.5%	38.7%	3.8%	0.0%
わが子は楽しく学校に通っている。	保護者	63.3%	34.6%	2.1%	0.0%
子どもたち一人ひとりを大切にし、楽しく学校に通えるよう努力している。	教職員	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%

【確かな学力】

本校は、学力向上のために「自ら学びいそしむ子」の姿を目指して教育活動を行っています。「わかった」「できた」と実感できることが学習意欲や自信を高め、さらに「なぜだろう」「やってみたい」という自ら学ぶ姿を生み出します。今後もすべての児童にとって「わかる」「できる」と感じられる授業を行えるよう授業改善に努め、児童の学力向上を目指していきたいと思います。

学校教育において最も重要なことは子どもたちが楽しく学校に通えることです。低学年、高学年共に9割以上の子どもたちが楽しく学校に通えていることをうれしく思います。子どもたちの学校生活に対する前向きな気持ちがあつてこそ、様々な教育活動の成果を得られると言えています。学校大好きと言える子どもたちを育てていけるよう、今後も福西小学校としての教育活動を進めていきたいと思います。

質問項目	対象	◎	○	△	×
学校での勉強がわかる。	低学年児童	54.5%	34.8%	8.9%	1.8%
	高学年児童	41.9%	48.6%	9.5%	0.0%
わが子は学校で学んだことを理解できている。	保護者	23.5%	68.1%	8.4%	0.0%
子どもたちの学力向上のために、工夫して授業を行うようにしている。	教職員	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%

学校では、朝読書の時間を設定し、毎日子どもたちが本を読む機会をもてるようになっています。しかし、家庭では読書をする子どもは少ないようです。生活調べから、家庭ではテレビを見たりゲームをしたりすることが多いとわかりました。高学年になるほどその傾向は強く表れています。本を読むことの楽しさを味わい、様々な言葉や文章、お話の世界との出会いを通して、豊かな想像力や表現力を高めていきたいと思っています。

質問項目	対象	◎	○	△	×
宿題を家で自分からしている。	低学年児童	61.6%	20.5%	13.4%	4.5%
	高学年児童	50.0%	24.0%	21.2%	4.8%
わが子は宿題や家庭学習などを自分から進んでいる。	保護者	30.2%	46.4%	17.7%	5.7%
自主学習ノート活用など、子どもたちが進んで家庭学習に取り組めるようにしている。	教職員	18.1%	45.5%	36.4%	0.0%

質問項目	対象	◎	○	△	×
宿題をする時間を家で決めている。	低学年児童	33.7%	20.0%	21.8%	24.5%
	高学年児童	18.9%	17.0%	24.5%	39.6%
わが子は宿題や家庭学習などを決まった時間にしている。	保護者	26.6%	51.0%	14.1%	8.3%
子どもたちが、時間を守って学習活動に取り組めるようにしている。	教職員	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%

学校では子どもたちが様々な学習活動に取り組んでいます。1時間1時間の学習を大切にすることはもちろんのこと、学校と家庭で学ぶという学習習慣の確立によってこそ学力の定着が図られます。本校においては、決められた内容の宿題をするだけでなく、自分にとって必要だと考えた学習にも、自ら進んで取り組める子どもたちの姿を目指しています。しかし、まだまだ宿題をやりきることで精一杯の子どもたちが多いように思われます。子どもたちの家庭での学習習慣がよりよく身に付くよう今後ともご支援ください。

質問項目	対象	◎	○	△	×
自分から発表したり、友だちの発表を聞いたりするのが好きだ。	低学年児童	49.9%	26.8%	18.8%	4.5%
	高学年児童	25.5%	36.8%	33.0%	4.7%
わが子は正しい言葉づかいで話をしている。	保護者	11.5%	50.8%	34.0%	3.7%
子どもたちが、自分の意見を述べたり、友だちの意見を聞いたりできるように、話し合い活動を進めて行っている。	教職員	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%

相手に自分の思いや考えを伝え、お互いの気持ちを理解し合うことは、私たちが様々な人間関係の中で生きていくためにとても大切なことであり、今の社会で求められていることもあります。そのため、学校での学習活動においては、積極的に話し合いの場を設けていきたいと考えています。正しい言葉遣いで思いや考え方をわかりやすく伝え合える力は、学校でのよりよい仲間づくりにも生かしていけると思います。

自分の思いを聞いてくれる人がいると、子どもたちは安心して生活することができます。今後も子どもたちの思いに耳を傾けながら学校や家庭であたたかく見守っていくことができればいいなと思います。全国的な学力調査の一つに学力と会話の関係について調べた結果がありました。家庭での会話の多さが学力の高さにも表れているということでした。安心感をもって学習に取り組めることが大切であると考えられます。

質問項目	対象	◎	○	△	×
楽しかったことや困ったことなどを話せる人がいる。	低学年児童	66.0%	18.8%	11.6%	3.6%
	高学年児童	59.4%	25.5%	10.4%	4.7%
わが子は学校であったことを家族に話している。	保護者	27.6%	47.9%	19.3%	5.2%
子どもや保護者の思いや考えを把握できるよう努めている。	教職員	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%

【豊かな心】

本校では、「あいさつ運動」が月に1回、PTAの取組として行われていることから、あいさつを大切にしたいという保護者や地域の方の思いが感じられます。しかし、自分から進んで気持ちのよいあいさつができる子どもは、まだ多いとは言えないよう思います。「おはようございます。」だけでなく、「ありがとうございました。」「すみませんでした。」「いただきます。」「ごちそうさま。」「さようなら。」など人と人が交わす言葉はたくさんあります。それらの言葉を伝え合うことでお互いに気持ちいいと感じられることが大切だと思います。私たち大人も進んで言葉を交わし合い、あいさつの気持ちよさを子どもたちにも感じさせていきたいですね。

質問項目	対象	◎	○	△	×
友だちや先生、地域の人たちに自分からあいさつをしている。	低学年児童	56.8%	27.9%	8.1%	7.2%
	高学年児童	48.1%	35.8%	12.3%	3.8%
わが子は自分から家族や地域の人にあいさつしている。	保護者	25.0%	47.4%	23.4%	4.2%
子どもたちが、気持ちのよいあいさつを進んでできるように働きかけている。	教職員	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%

質問項目	対象	◎	○	△	×
安全に気をつけてすごしている。	低学年児童	73.0%	25.2%	1.8%	0.0%
	高学年児童	60.0%	31.4%	8.6%	0.0%
災害時の避難について家族で話し合っている。	保護者	6.7%	33.9%	47.4%	12.0%
安全ノートの活用や安全点検等により、子どもたちの安全や災害時に対する備えに対して取り組めている。	教職員	8.3%	50.0%	25.0%	16.7%

全体的に安全に気をつけて過ごしているという子どもたちの割合が高いようですが、実際は友だちとの危険な遊びや校舎内での危険な行動だけがをしていることも多いです。けがをする前に「危ない」と気づけることが大切です。学校のきまりやマナーを守って安全に過ごす意識を高められるよう、安全に関する学級指導や安全ノートを活用した安全学習を今後も行っていきたいと思います。また、災害に対する適切な判断や行動ができるよう避難訓練を計画的に行ってています。家庭でも、もしもの時に備えて災害に対する避難方法や安全対策について話し合っておいてください。

質問項目	対象	◎	○	△	×
「学校のきまり」を守っている。	低学年児童	57.2%	33.0%	9.8%	0.0%
	高学年児童	30.2%	48.1%	20.8%	0.9%
わが子は家庭や地域での約束を守っている。	保護者	20.3%	62.0%	17.2%	0.5%
子どもたちが、「学校のきまり」を守って学校生活を過ごせるように働きかけている。	教職員	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%

質問項目	対象	◎	○	△	×
学校での係や当番などの仕事をしっかりしている。	低学年児童	75.7%	15.3%	6.3%	2.7%
	高学年児童	50.0%	40.6%	9.4%	0.0%
わが子は家族の一員として家の仕事をしている。	保護者	21.9%	45.3%	27.6%	5.2%
子どもたちが、学校や学級の一員として、自分の役割を果たせるように働きかけている。	教職員	30.8%	53.8%	15.4%	0.0%

規範意識の高まりが社会で求められている中、学校生活における子どもたちの姿にもその影響はあるのではないでしょうか。気になるのは低学年児童と高学年児童の「学校のきまり」に対する意識の差です。きまりを守ることは、自分だけでなく友だちのためになるという気持ちをもつことが大切です。高学年としてのやさしさを低学年の子どもたちに伝えていってほしいと思います。また、高学年としての自覚と責任感をもって役割を果たし活躍する姿を見せてることで、低学年の子どもたちから憧れられ、よいお手本となっていければよいなと思っています。高学年の姿が学校全体の姿となって表れてきます。

【健やかな体】

質問項目	対象	◎	○	△	×
外で遊んだり、スポーツをしたりするのが好きだ。	低学年児童	75.7%	10.8%	8.1%	5.4%
	高学年児童	59.4%	21.7%	12.3%	6.6%
わが子は外遊びやスポーツをしている。	保護者	45.8%	29.7%	20.3%	4.2%
子どもたちが、進んで外遊びや運動をするように働きかけている。	教職員	15.3%	46.2%	38.5%	0.0%

休み時間の子どもたちの様子から、運動場で活発に遊ぶ子と校舎内でおとなしく過ごしている子、それぞれの好みで分かれており固定化しているように感じられます。運動場で遊べる時はたくさんの友だちと体を動かして楽しみ、運動場で遊べない時は校舎内で静かに読書を楽しむなど、それぞれの楽しみ方を大切にし合えればよいなと思っています。学級遊びなどを積極的に行い、様々な遊びを通しての友だちとの交流も深めていきたいと思います。

質問項目	対象	◎	○	△	×
早ね・早起きをしている。	低学年児童	53.2%	22.5%	15.3%	9.0%
	高学年児童	26.4%	36.8%	21.7%	15.1%
わが子は早寝・早起きをしている。	保護者	28.3%	42.4%	22.0%	7.3%
子どもたちが、早寝・早起きをして生活できるように働きかけている。	教職員	15.3%	23.1%	38.5%	23.1%

質問項目	対象	◎	○	△	×
朝ごはんを食べている。	低学年児童	86.5%	9.9%	3.6%	0.0%
	高学年児童	84.0%	7.5%	5.7%	2.8%
わが子は朝ごはんを食べている。	保護者	72.9%	22.4%	4.2%	0.5%
子どもたちが、朝ごはんをしっかりと食べて登校できるように働きかけている。	教職員	7.6%	38.5%	30.8%	23.1%

質問項目	対象	◎	○	△	×
手洗いうがいはみがきをしている。	低学年児童	62.2%	19.8%	15.3%	2.7%
	高学年児童	55.7%	34.0%	8.5%	1.9%
わが子は手洗いうがい・歯磨きをしている。	保護者	35.9%	49.0%	14.1%	1.0%
子どもたちが、手洗いうがい・歯磨きができるように働きかけている。	教職員	7.1%	35.7%	42.9%	14.3%

質問項目	対象	◎	○	△	×
すきらいしないで食べものを食べている。	低学年児童	43.3%	32.4%	14.4%	9.9%
	高学年児童	34.0%	37.7%	17.0%	11.3%
わが子は食事中に好き嫌いしないで食べている。	保護者	30.1%	46.4%	17.2%	6.3%
子どもたちが、食事のマナーを守って給食をしっかりと食べられるように取り組んでいる。	教職員	8.3%	66.7%	16.7%	8.3%

「早寝・早起き・朝ごはん」は基本的な生活習慣のための合言葉です。本校の子どもたちの様子から早寝や早起きのできていない子どもたちの多さが目立ちます。また、朝ごはんを食べずに登校している子どももいます。元気な体の状態が豊かな心の育ちにつながります。また、健全な心の状態が体の健康にもつながります。元気いっぱいの心と体で有意義な学校生活を過ごしてほしいと思います。生活調べの取組を学校や家庭で有効に生かし、子どもたちがよりよい生活習慣を身に付けられるよう働きかけていきたいと思います。

【情報発信】

質問項目	対象	◎	○	△	×
学校だより・学級だより・学校HP等で、学校の様子が保護者に伝わっている。	保護者	29.1%	64.1%	5.2%	1.6%
学級だより・学校HP等で、子どもたちの様子が保護者に伝わるようになっている。	教職員	38.4%	46.2%	15.4%	0.0%

今後も、学校だより、学級だより、学校HP（ホームページ）を有効に活用して、学校での取組や子どもたちの様子を保護者や地域の方に知っていただけるよう努めていきたいと思います。福西小学校の教育活動に対するご理解とご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。